

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
50 大修館	C II 711	PANORAMA English Communication 2

編集の趣旨

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと・読んだことの要点をつかみ、話し手・書き手の意図を把握することができるように、要約などの内容確認問題を充実させ、またリテリングで情報を整理する活動や、聞き・読んだ内容、テーマについて自分はどうか考えるか・どう思うかを発表させる、書かせる、生徒同士で話し合わせるなどの活動を盛り込んだ。
- ・選択肢や会話のモデル、注など、言語活動に必要な支援を盛り込んだ。
- ・5つのアイコン（聞く、読む、話す、やり取りする、書くポーズを取るカモメのイラスト）を活動に添えることで、そのコーナーで何の技能を主に使うのかが一目でわかるように工夫し、5領域のバランスの取れた構成をこころがけた。

(2) 英語コミュニケーションIから無理なく移行する。

- ・各レッスンの本文総語数はLesson 1の570語程度からゆるやかに増えていくよう配慮した。また、新語の出現率が高くなるように配慮した。
- ・文法事項・文構造については、基本事項の定着に重点を置き、前に学習した文法が出てきた時には再度おさらい・確認ができるように「グラマーリサイクル」マークを施した。
- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法用語の使用は最小限に抑え、どういった場面で使うのかという観点から説明するよう心がけた。

(3) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・1レッスンを4パートに分け、各パートを見開き2ページで構成して授業で学習する内容が一目でわかるよう工夫した。
- ・生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的な視点につながるよう工夫した。
- ・写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫した。

■各レッスンの構成■

1. レッソンの導入ページ(見開き2ページ)

【左ページ】 写真を見ながら、今から学習するテーマに関わるQuestionについて考える。

【右ページ】

- ・Goals & Activities：そのレッスンでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・Warm-up：レッスンに関連したテーマについての会話を聞き、それについてペアでやり取りし考えを伝え合う。

2. 本文ページ(1パート2ページ見開き)

【左ページ】

- ・ **本文**：英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。そのパートで学ぶ主な文法事項は「G」マークで示し、またすでに学んだ文法のおさらいをする文法事項には「グラマーリサイクル」マーク (🔄) をつけることで、スパイラルに文法事項を学べるようにした。内容理解の確認として、3つの文章を聞いて本文の内容に合う1文を選びリスニング問題を用意した。なおQRコードから本文の音声を聞くことができる。
- ・ **傍注**：新出単語と重要フレーズを掲載するほか、英文を理解する上で注意したいリーディングストラテジーを示した。なおQRコードから新出単語の音声を聞くことができ、フラッシュカードを使用することができる。
- ・ **脚注**：新出の固有名詞と意味を取るのに注意が必要な語句を掲載するほか、発音で留意したい点を示した。

【右ページ】

- ・ **Key Ideas**：本文のポイントを尋ねる3つの質問に答えることで内容理解を確認する。
- ・ **The Gist**：本文の要約文を穴埋めで完成させることで内容理解を確認する。
- ・ **Think and Talk**：本文のテーマについてペアでやり取りし、考えを伝え合う。
- ・ **Grammar**：そのパートで学ぶ文法事項についてポイントを示し、簡単なドリルで定着を図る。

3. 各レッスン末(4ページ)

【1 ページ目】

- ・ **Comprehension Check A**：True or Falseのリスニングで、本文の内容理解を確認する。
- ・ **Comprehension Check B**：1. グラフィック・オーガナイザーで本文の内容を整理する。
2. 1. をもとに、写真などを見ながらリテリングをする。

【2 ページ目】

- ・ **Test Your Skills**：そのレッスンのターゲットタスクとして、本文のテーマに関連した内容で、まずリスニングをし、さらに4技能5領域のいずれかにフォーカスを当てたタスクで言語活動を行う。

【3 ページ目】

- ・ **Language in Action**：言語材料を使うドリルで定着を図る。

- ①新出単語を使った練習問題
- ②重要語句を使った練習問題
- ③ターゲット文法を使った話す活動
- ④ターゲット文法を使って3文の英文を書く練習問題

【4 ページ目】

- ・ **Listening Tips**：リスニングに必要なコツを示し、実際の音声で試す。
- ・ **Check Your Progress**：Goals & Activitiesで目標としたことができるようになったか生徒が自分でチェックする。

4. Supplementary Reading： 補充的読み物教材を用意した。

5. 見返し、コラム、付録類：

- ・ Vocabulary Skills、 Reading Skills、 Speaking Skills、 Writing Skillsなどのコラムで、英語を効率的に学習するためのストラテジーを紹介した。
- ・ 巻末に「文法を使って話してみよう」を設け、各レッスンのGrammarを実際を使って「話すこと [やり取り]」を行えるようにした。